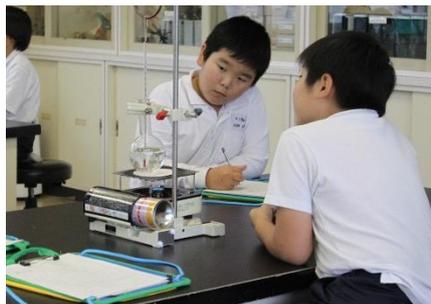




＜「日本一楽しい学校」を目指しましょう。＞

11月3日は文化の日でした。「自由と平和を愛し、文化をすすめる」という意味が込められています。文化というと、とても幅が広く、音楽や絵、書道などの芸術や伝統芸能だけでなく、衣服や食事、本やゲーム、アニメなど、私たちの暮らしを楽しく豊かなものにしていくもの、いろいろなことを言います。



4年生が理科の実験をしていました。火を使って水の入ったフラスコを温めています。温度計を見つめる真剣な眼差しがいいですね。理科学習の上達の秘訣は、目と耳と鼻と手をよく働かせて、生き物や物をしっかり観察することです。



3年生の習字の授業では、お友だちの書いた作品を見て、上手なところを見つけて発表し合っていました。発表者に顔を向けて聞いているのいいですね。みんなのいいところを集めると、きっとすごい作品ができると思いますよ。



大三島町の人権・同和教育の研究会が行われ、5年生の授業を参観していただきました。正しいことを実践するためには、どんな心が必要か、真剣に考え、自分の意見を進んで発表していました。クラスや学校をより良くしようという熱意が感じられました。



毎日の生活の中で、「いやだな」「大変そう」「面倒だ」と思うことが、あるでしょう。それがなければ、毎日楽しくてたまらないのかも知れませんが、そんな人は少ないでしょう。そういった「いやなこと」「大変なこと」「面倒なこと」は無駄なのでしょうか。昔から言われることわざで「若い時の苦勞は買ってでもせよ」などと言われます。これは、苦勞から学ぶことも多く、苦勞を乗り越えることで人間は成長することを物語っています。大変なこと、苦しいことから逃げるばかりでなく、それに立ち向かっていくから、乗り越える力がつくのです。

